

がん

CHECK! 検診を受けよう!

がんは日本人の死因の第1位であり、死亡数は年々増え続けています。しかし、診断と治療の進歩によって早期発見・早期治療で治せるがんも増えてきています。例えば胃がんの場合、早期*であればほとんどが治癒します。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、症状がなくとも定期的ながん検診を受けましょう。*臨床病期(ステージ)がI期の場合

がんにかかる人の約3割は40～64歳の現役世代!

がんは高齢者に多い病気ですが、がんにかかる人の約3割は40～64歳の現役世代のため油断は禁物です。40歳を過ぎたら(子宮頸がんは20歳を過ぎたら)定期的ながん検診を受けることが大切です。



注目情報

- 日本では年間85万人以上が新たにがんにかかっている
- そのうち約3割が40～64歳の現役世代

がんに対するこんな“思い込み”ありませんか?

思い込みその1

自分はきっとがんにかからない

日本人の約2人に1人が、がんにかかるといわれています。がんは誰もがかかる可能性のある身近な病気です。

思い込みその2

健康には自信があるので大丈夫

がんはさまざまな要因で起こる病気です。どんなに気を付けていても完全に防ぐことはできません。

思い込みその3

検診でがんが見つかるのが怖い

がんは今や不治の病ではありません。早期発見・早期治療のためながん検診を活用しましょう。

がん検診はお住まいの自治体でも実施しています。

早期発見・早期治療のために、定期的ながん検診を受けましょう。

※がん検診の種類や対象年齢、受診間隔、検査項目、費用などは実施主体によって異なります。



多くの自治体では無料、もしくは少額の自己負担でがん検診を受診可能です。詳しくは、ご自宅に送られてくる資料や自治体のHPをご確認ください。

〇〇市 がん検診

検索



〈大阪市のがん検診の例(年齢は年度末時点)〉

検診項目	胃部エックス線検査	前立腺がん検診	大腸がん検診
対象年齢	50歳以上	50・55・60・65・70歳の男性	40歳以上
料金	500円	1,000円	300円

検診項目	乳がん検診(超音波)	乳がん検診(マンモグラフィ)	子宮頸がん検診	骨粗鬆症検診
対象年齢	30歳～39歳の女性	40歳以上の女性	20歳以上の女性	18歳以上
料金	1,000円	1,500円	400円	無料

※健保組合の補助対象年齢は40歳以上、補助金は7割です(年度中1回)。骨粗鬆症検診は女性のみ。

※市町村のがん検診は健保組合の補助対象ではありません。